

## 平成28年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	情報システム入門(Introduction to Information System)		授業コード	P020101
担当教員名	赤星 哲也、吉森 聖貴		科目ナンバリングコード	P10201
配当学年	1	開講期	前	
必修・選択区分	コース選択必修	単位数	2	
履修上の注意または履修条件				
受講心得				
教科書				
参考文献及び指定図書	「生命と機械をつなぐ知 基礎情報学入門」 高陵社書店			
関連科目				

授業の目的	高校までの情報教育の内容をさらに発展させ、急速な勢いで変貌を遂げる情報社会において私たちに求められる基礎的な教養や知識を修得する。
授業の概要	情報の定義、情報システムという捉え方、メディアとコミュニケーション、情報社会の諸問題等を扱う。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：スタートアップ	
第2週：ガイダンス この科目の目的、到達目標、学習内容、学習方法(受講心得)、成績評価方法について説明します。	配布資料・レポート 小テスト
第3週：知覚と意味、そして情報 情報とは何かについて、人の意識という観点から概観してみます。	配布資料・レポート 小テスト
第4週：三つの情報概念・人の意識 情報を機械情報、社会情報、生命情報という観点から分類してみます。	配布資料・レポート 小テスト
第5週：アナログとデジタル 機械情報とは何か、コンピュータが登場する前と後とでどのように変わったかについて学修します。	配布資料・レポート 小テスト
第6週：情報量 情報工学の基礎知識である情報量について学修します。	配布資料・レポート 小テスト
第7週：メディア 情報システムの観点からコミュニケーションが成立する条件について学修します。	配布資料・レポート 小テスト
第8週：コミュニケーションの影響	

情報システムの観点からコミュニケーションの影響について学修します。	配布資料・レポート 小テスト
<b>第9週：現実-像と客観性</b> 情報システムの観点からコミュニケーションがいかにして成立しているを学修します。	配布資料・レポート 小テスト
<b>第10週：生物と機械</b> 情報システムとしての、生命情報と機械情報との違いを学修します。	配布資料・レポート 小テスト
<b>第11週：心的システム・社会システム</b> 「オートポイエーシス」という考え方をを用いて、現代社会における情報システムについて理解します。	配布資料・レポート 小テスト
<b>第12週：社会システムの進化</b> 現代社会において情報システムとは何か、総括してみます。	配布資料・レポート 小テスト
<b>第13週：ワークショップ(1)</b> 情報社会における情報システムについて、体験的に学修します。	配布資料・レポート
<b>第14週：ワークショップ(2)</b> 情報社会における情報システムについて、体験的に学修します。	配布資料・レポート
<b>第15週：ワークショップ(3)</b> 情報社会における情報システムについて、体験的に学修します。	配布資料・レポート
<b>第16週：</b>	
<b>授業の運営方法</b>	(1)授業の形式 「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式 「オムニバス方式」
	(3)アクティブ・ラーニング
<b>地域志向科目</b>	該当しない
<b>備考</b>	

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	予習・復習に取り組み、授業時に質問や発表を行う。
<b>【知識・理解】</b>	情報システムに関する基礎的な教養や知識が身についている。
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	ワークショップに意欲的に取り組み、成果をまとめて課題として提出する。
<b>【思考・判断・創造】</b>	

<b>○成績評価基準(合計100点)</b>			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	

<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			<b>10点</b>
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	<b>45点</b>		
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		<b>45点</b>	
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。			

**(「人間力」について)**

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

**○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安**

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	課題の評価基準は次の通りです。 [Sレベル] 課題内容の到達目標を満たしており、かつ、期限内に提出している。 [Aレベル] 課題内容の到達目標を満たしているが、期限内に提出できなかった。 [Bレベル] 課題内容の到達目標にはやや不十分な内容だが、期限内に提出している。 [Cレベル] 課題内容の到達目標にははやや不十分な内容であり、かつ提出内に提出できなかった。  テスト(毎時間、小テストとして実施)の成績は合計45点として評価します。
発表・その他 (無形成果)	